

# 過去様式からの変更箇所

○過去様式（平成29年4月1日以前の様式）での記入方法

## 取組・評価書（配慮指針 別記第2号様式）

①2014(新住宅/PAL\*/一次エネルギー)2.0

用途：事務所等

詳細用途：事務所

### 第1 環境への配慮のための措置及びその取組状況の評価

【細区分】設備システムの省エネルギー→評価基準の段階

詳細(容量、仕様、規模等)	取組状況の評価			
	評価基準の適用	評価基準の段階	評価	
			評点	最高点
※Q25	適用する	段階3(配点2)	0	2

評価基準をもとに、段階評価を選択

【細区分】設備システムの省エネルギー(全体)

特定建築物全体の基準一次エネルギー消費量[GJ/年](A)※Q67	特定建築物全体の設計一次エネルギー消費量[GJ/年](B)※Q68
18,000	14,250
設備システム全体のエネルギー利用の効率率(ERR)(1-B/A)※Q69	(1-14,250/18,000) × 100
20.84	
(参考) ※エネルギーの使用の合理化に関する性能の目標値(ERR)【%】※Q60	

### 第2 環境への配慮のための措置の概要

第2 環境への配慮のための措置の概要	第3 様グラフによる環境配慮
PAL* 計算方法: WEBプログラム ver.1.12.1(標準入力法)	I 建築物の熱負荷の削減 II 再生可能エネルギー
一次エネルギー消費量計算方法: WEBプログラム ver.1.12.1(標準入力法)	III 省エネルギー IV 地域における

計算方法を記載する

## 根拠資料

(例: WEBプログラムによる算定結果表)

エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版) 算定結果

1. 計算条件

計算実施日時	2016年
入力責任者	
プログラムのバージョン	Ver.2

3. PAL\*・一次エネルギー消費量計算結果

設計値		基準値		
PAL*	300	450		
内訳	設計一次エネルギー消費量		基準一次エネルギー消費量	
	空調設備	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	MJ/延床m2年)
	換気設備	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	MJ/延床m2年)
	照明設備	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	MJ/延床m2年)
	給湯設備	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	MJ/延床m2年)
	昇降機	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	MJ/延床m2年)
	効率化設備	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	MJ/延床m2年)
その他	3,000 GJ/年( MJ/延床m2年)	3,000 GJ/年( MJ/延床m2年)	MJ/延床m2年)	
合計	14,250 GJ/年( MJ/延床m2年)	18,000 GJ/年( MJ/延床m2年)	MJ/延床m2年)	

本計算結果は、当該建築物が建設される地域区分及び設計内容に、一定の運用スケジュールに基づく設備稼働の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。

4. 判定結果

BPI	(PAL*設計値/PAL*基準値)	0.67
BEI	(「その他」を除く一次エネルギー設計値/「その他」を除く一次エネルギー基準値)	0.75

### ERR評価段階(平成29年4月1日以前)

評価段階	評価基準
段階3	11% ≤ ERR
段階2	10% ≤ ERR < 11%
段階1	0% ≤ ERR < 10%

# 過去様式からの変更箇所

○新様式（2017年度様式）での記入方法

## 取組・評価書（配慮指針 別記第2号様式）

①2017年度様式

用途：事務所等

詳細用途：事務所

### 第1 環境への配慮のための措置及びその取組状況の評価

【細区分】設備システムの省エネルギー→評価基準の段階

詳細(容量、仕様、規模等)	取組状況の評価			
	評価基準の適用	評価基準の段階	評価	
			評点	最高点
※Q25	適用する	段階2(配点1)	0	2

事務所等(非住宅用途1)の評価基準をもとに、段階評価を選択

【細区分】設備システムの省エネルギー(全体)

特定建築物全体の基準一次エネルギー消費量[GJ/年](A)※Q67	特定建築物全体の設計一次エネルギー消費量[GJ/年](B)※Q68
18,000	14,250
設備システム全体のエネルギー利用の効率率(ERR)(1-B/A)*100【%】※Q69	
25.00	
(参考) ※エネルギーの使用の合理化に関する性能の目標値(ERR)【%】※Q69	

(1-11,250/15,000) × 100  
 “合計(その他抜き)”の一次エネより算出

### 第2 環境への配慮のための措置の概要

第2 環境への配慮のための措置の概要	第3 様グラフによる環境配慮
PAL * 計算方法: WEBプログラムver.2(標準入力法)	I 建築物の熱負荷の削減
一次エネルギー消費量計算方法: WEBプログラムver.2(標準入力法)	II 再生可能
	III 省エネルギー
	IV 地域における

計算方法を記載する

## 根拠資料

(例: WEBプログラムによる算定結果表)

エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版) 算定結果

1. 計算条件

計算実施日時	2016年
入力責任者	
プログラムのバージョン	Ver.2

3. PAL \* 一次エネルギー消費量計算結果

PAL *	設計値		基準値	
	300		450	
内訳	設計一次エネルギー消費量		基準一次エネルギー消費量	
	空調設備	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)
	換気設備	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)
	照明設備	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)
	給湯設備	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)
	昇降機	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)
	効率化設備	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)	GJ/年( MJ/延床m2年)
その他	3,000 GJ/年( MJ/延床m2年)	3,000 GJ/年( MJ/延床m2年)		
合計	14,250 GJ/年( MJ/延床m2年)	18,000 GJ/年( MJ/延床m2年)	11,250 GJ/年( MJ/延床m2年)	15,000 GJ/年( MJ/延床m2年)
合計(その他抜き)	11,250 GJ/年( MJ/延床m2年)			

4. 判定結果

BPI	(PAL * 設計値 / PAL * 基準値)	0.67
BEI	(「その他」を除く一次エネ設計値 / 「その他」を除く一次エネ基準値)	0.75

## ERR評価段階(平成29年4月1日以降)

評価段階	評価基準	
	非住宅用途 1	非住宅用途 2
段階 3	30% ≤ ERR	25% ≤ ERR
段階 2	20% ≤ ERR < 30%	20% ≤ ERR < 25%
段階 1	0% ≤ ERR < 20%	